



TITLE:

此頃小望遠鏡で面白い星

AUTHOR(S):

NK

CITATION:

NK. 此頃小望遠鏡で面白い星. 天界 1923, 3(34): 346-347

ISSUE DATE:

1923-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159979>

RIGHT:

此頃小望遠鏡で面白い星

N K 生

○白鳥座 χ 長週期變光星

赤經19時47.5分 赤緯北32° 43'

1686年 Kirch キルヒの發見した星で長週期星の好標本である。變光は4.2等から13.2等まで、あるから極大時には肉眼で容易に見える様になるが極小時には4時でも見えなくなる。週期は406日で今年の極大はハーヴァド推算によるさ11月11日で4等乃至五等の肉眼星として認め得るはずである。位置は比較的分かり易い所にあるが極小時には極河の星の多い所である爲に探しにくい。

○N. G. C. 6960 星雲

赤經20時42.4分 赤緯北30° 26'

白鳥座52(ϵ の南の5等星)の南北に延びて居る有名な白鳥座網狀星雲の一つで北側のものは先が光つて居る。空の明るい都會では見えないが田舎なれば3時30倍で極く薄い星雲として見える。10時でも始めて見た人は氣が付きにくい位であるが星の間に網狀のヴェイルの様な星雲が立派に見える。此の星雲の東西の星數の著しい差に注意されよ。

○N. G. C. 6992

赤經20時53.1分 赤緯北31° 23'

6960の東2度餘の所にあつて全長は一度半もあつて曲つて居る。2時8倍の望遠鏡で立派に見えるが輝いたものではない。3時でも30倍で充分見える。10時だと随分複雑に見える。鮮細な點が見える點ではオリオン星雲に次ぐものである。6960と6992は向ひ合つて居りWハーセルの發見したものである。一戸氏著星圖參照

○鵜星雲Cocoon nebula 白鳥座

赤經21時51.2 赤緯46° 42'

白座座 π の少し南にある赤經10'の星雲でエスピ π Espinが發見したN. G. C. にない星雲で Dreyer Second Index Catalogue 5146番と呼ばれる。此の星雲の西に暗黒星雲による長い暗い星の無い溝が見える。此れは2時8倍の望遠鏡で著しく見える。3時30或は4時50倍で容易に此の星雲が見つかる。此の星雲の廻りは少しく暗く星が無く其の爲に星雲はかなりよく見える。星雲の中に BD+46° 3774及び3475及び二三の小星が見え星雲内部の數箇のさげ目が見える。3時でも可なりよく見える此の星雲が多年發見されなかつたのは不思議に思はれる。

○M 78 N. G. C. 7654 星團

赤經23時20'7分 赤緯北61° 9'

カシオペアの $\alpha\beta$ をチフェウスの方に兩星の間だけ延した所にある密集星團で1時で見える。形はシス T. J. Smyth が書いた如くWの形で星は小さいから3時では小敷しか見えぬが10時では極めて美事な星團である。カシオペア座に入つて居る圖もあるが通常52M Cephei と呼ばれる。

○N. G. C. 7789 H VI 30 星團

赤經23時53.0分 赤緯56° 17'

カシオペア座 ρ の中間にあり1時でよく見える。仲々立派な星團で星も比較的大きく數が多い。3時では80倍位がよい。

○カシオペア座 κ

此の星を中心として星が多い。北側にN. G. C 133及び146なる星團がある何れも小さい。

○N. G. C. 225

赤經0時38.7分 赤緯北61° 21'

比較的大きな星の群で星數も少なく淋しい群である $\gamma\kappa$ の中途にある。

○N. G. C. 457 H VII 42 星團

赤經1時14.0 赤緯57° 54'

5等星の ϕ のnpにある美しい星團で星は大きく美事である1時でも見えるが3時なら立派に見える。

○M 103 N. G. C. 581 散開星團

赤經1時27.9分 赤緯北60° 17'

カシオペア座 δ の東約一度の所にあり一時でよく見えるしかし星數は少ない。2時3時で仲々立派に見える。

○N. G. C. 654 H VII 46 星團

赤經 1 時 38.5 分 赤緯北 $61^{\circ} 29'$

小さな星團だが星数は仲々多い。

○N. G. C. 663 H VI 31 星團

赤經 1 時 40.5 分 赤緯北 $60^{\circ} 51'$

654 の一度南で密集した星の多い星團である。1 時でも見え 3 時 4 時には甚だ美しい。

○N. G. C. 1027 H VIII 66

赤經 2 時 36.5 分 赤緯北 $61^{\circ} 12'$

比較的大きな星の散開した群で美しい。

○牡羊 λ 二重星

赤經 1 時 53.5 分 赤緯北 $23^{\circ} 13'$

4.7 等 : 6.7 等位置角 46.2° 距離 $37''.5$

離れた重星で伴星は青緑色 50 倍で充分見える。発見以後相對的位置に殆んど變化なし。

○牡羊 ϵ 連星

赤經 2 時 54.6 分 赤緯北 $21^{\circ} 2'$

5.2 等 : 5.6 等 位置角 203° 距離 1.4 秒

距離は 1.4 秒であるから 3 時には少し極限以下で二星像がひつついて見える。良い 3 時半なら分かれて見え絶好の試験星である。3 時半 150 乃至 200 倍は必要である。

連星ではあるが位置の特別な變化の爲週期は決定されない。

天體觀測用としての双眼鏡

双眼鏡を持つて居られる方は随分多いが此れを使用して居られる方は少い。月を見て火口等が案外明瞭に見えるのに驚かれるでせう。双眼鏡で見たプレアデス群等は仲々見事なものである。3 倍の双眼鏡で見得る星雲星團は百個近くもある。恒星については 6 等星まで見えるから星数は随分多い。變光星觀測を望遠鏡で觀測を始めるに常に双眼鏡が必要になつてくる。5 等乃至 7 等星を觀測するには双眼鏡が最良である。望遠鏡では都合が悪い。双眼鏡を使つて觀測し得る星は常に數十ある。肉眼で不満足な感ぜられる方は安價な方法では双眼鏡が第一である。プリズム双眼鏡は高價で不適當であるがガリレオ式が良い。廣い範圍を見る爲に口径 1 吋半 3 倍位のものが適當である。價格は 20 圓乃至 25 圓

双眼鏡の外眼鏡屋で賣つて居る口径 1 吋 15 倍位の景色用望遠鏡も有効である月の火口、木星の衛星星雲星團等通常の目的物は充分に見得る。價格は 15 圓乃至 25 圓位である。觀測に使ふつもりなれば双眼鏡より此の方が好い。

觀測部より

觀測部集會

8 月 11. 12 日夜京大天文臺で行はれたが 11 日來會者 5 名 12 日 2 名であつた。11 日夜には 3 名居殘られ午前 3 時までヘルセウス流星群觀測。12 日には岡山の水野及び神戸の森下兩氏來會徹夜してヘルセウス流星群及び諸種の天體を觀望せり。兩夜さも夜半夜快晴となり愉快なる觀測日和であつた。

ヘルセウス座流星群

天文臺に於ける中村要池田政晴兩氏の觀測以外岡山縣津山町の山本孝二郎君及び大阪の樫原徳三郎君より報告があつた。

觀測期間には概して晴天にて月は新月に近く好都合の下に行はれた。

觀測者	觀測時間	日	流星數
中村 要	3 時 49 分	11. 12.	64
池田 政晴	1 15	12.	12
樫原徳三郎	6 20	12. 13. 14. 16.	36
山本孝二郎	1 25	12.	26

四名の觀測者の時間は 12 時 49 分で記録した流星は 132 箇である。其の中でヘルセウス流星群に屬するものは約 90 個で過半数を止めて居る。記録した流星以外不熟練及び不正確等の理由で記録しなかつたものは甚だ多い。

輻射點は次の如く決定された。